

[3] 貸借対照表

貸借対照表について、推計を行いましたので報告いたします。

貸借対照表（推計）

資産の部

(単位：千円)

科 目		22年度末	21年度末	増 減
資 産	固定資産	21,207,442	21,413,916	△ 206,474
	有形固定資産	18,691,609	19,028,606	△ 336,997
	その他の固定資産	2,515,833	2,385,311	130,522
	流動資産	2,434,269	2,435,958	△ 1,689
合 計		23,641,711	23,849,874	△ 208,163

有形固定資産は減価償却により減少しましたが、その他の固定資産では新設のソフトウェアが3,052万円および創立100周年記念引当特定資産が1億円増加となりました。流動資産では現金預金がキャッシュフロー計算書の繰越支払資金の減少額3,596万円減少しましたが、未収入金が3,413万円増加しました。

負債の部、基本金の部、消費収支差額の部

科 目		22年度末	21年度末	増 減
負 債	固定負債	2,633,693	2,913,947	△ 280,254
	長期借入金	1,177,490	1,408,880	△ 231,390
	学校債	550,600	551,400	△ 800
	長期未払金	33,971	0	33,971
	退職給与引当金	869,382	951,417	△ 82,035
	徴収不能引当金	2,250	2,250	0
	流動負債	1,229,660	1,261,126	△ 31,466
	短期借入金	231,390	331,390	△ 100,000
	学校債	108,600	118,800	△ 10,200
	未払金・前受金・預り金	889,670	810,936	78,734
計		3,863,353	4,175,073	△ 311,720
基本金		27,981,448	27,522,796	458,652
消費収支差額		△ 8,203,091	△ 7,847,994	△ 355,097
合 計		23,641,710	23,849,875	△ 208,165

固定負債のうち、長期借入金は返済により2億3,139万円減少しましたが、リース取引の会計処理変更により、リース未経過リース料期末残高を新設の長期未払金へ計上しました。流動負債については短期借入金のうち、銀行借入金が今年度末で完済となり1億円減少しましたが、未払金が6,436万円の増加となり、負債総額は3億1,172万円の減少となりました。

施設支出、設備支出、借入金の返済などにより第1号基本金への組入れを行い、基本金は4億5,865万円の増加となりました。

正味資産	19,778,358	19,674,801	103,557
減価償却累計額	10,135,936	9,660,150	475,786
基本金未組入額	1,740,270	2,071,660	△ 331,390
運用資産－負債総額	1,086,749	646,196	440,553

消費収支計算書の帰属収支差額(帰属収入－消費支出)の1億355万円が正味資産の増加となりました。

(注) 正味資産＝資産－負債（＝基本金＋消費収支差額）

運用資産＝その他の固定資産＋流動資産